

○「優良農地をどう守るか」

(京都府与謝野町岩滝地区連絡会議)(第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

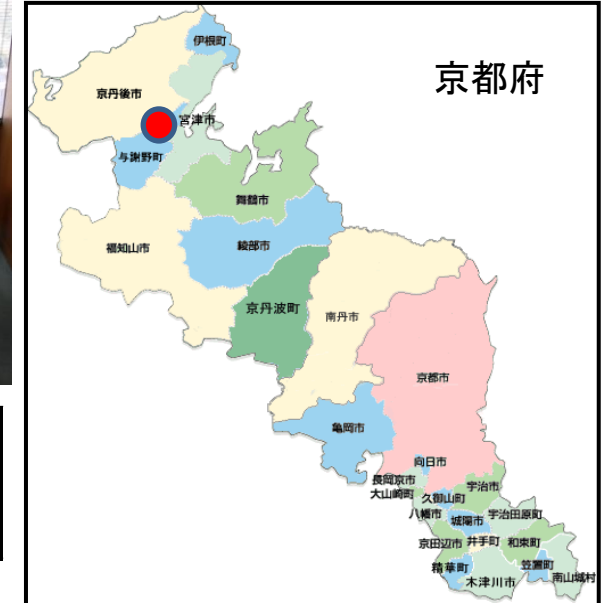
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年2月28日 10:00~11:30
- 場 所: 与謝野町役場岩滝庁舎
- 出席者: 農業委員2人、最適化推進委員2人
農業委員会事務局2名
- 報告者: 泉 良 悟 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 与謝野町の北に位置し、平地農業地域で、一部中山間を含んでいる。
- 町内で畑地以外の水田は圃場の区画も概ね整備され水稻＋一般野菜を中心とした地域である。
- 地形的にコンパクトにまとまった区域である反面、担い手対策が今後の課題である。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 意向調査の内容を知らない農地所有者が多いので、十分説明が必要である。
- 先代名義の農地について、農業に対する関心がないので、どう克服するか。
- 農事組合組織が弱体化している。解体し新組織を構築する必要がある。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援